

グローバル化・学際化の中で 発展するロボット産業と日本の課題

**The Robotics Industry in the Age of Globalization and Interdisciplinaryization
and Challenges Facing Japan**

キヤノングローバル戦略研究所
第1回ワークショップ
御報告用資料(イントロダクション)

2017年12月18日

栗原 潤

キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹

(Research Director, Canon Institute for Global Studies (CIGS))

Kurihara.Jun@gmail.com; Kurihara.Jun@canon-igs.org

http://www.canon-igs.org/fellows/jun_kurihara.html

グローバル化・学際化の中で発展するロボット産業と日本の課題

ワークショップの目的と概要

ロボットの経済社会への活用領域が急速に拡大・深化している。従来ロボットを積極的に活用してきた産業分野では、AIを含むICTを援用した更なる進化が観察されている。

同時に医療、介護、教育等の各種サービス分野において、実用化には道半ばの観があるものの、世界中で最先端の実験・研究が実施されている。こうしたサービス分野でのロボットの活用は、医療福祉関連分野の財政的負担軽減および労働力不足解消を目的として、少子高齢化の問題に悩まされている日本にとって重要課題の一つである。そして、これが故に日本各地でロボット開発が熱心に議論されている。

翻って海外—特に米欧中—では、国際的多業種共同研究と学際的情報交換が積極的に実施されている。このため、日本産業の競争力が低下して、これまで当該分野で先導役であった日本が後塵を拝する危険性が懸念されている。

上記の問題意識を背景に本ワークショップは、上述の海外の研究における長期的趨勢を概観し、内外のロボット開発の現況を睨みつつ、日本ロボット産業の将来を展望することを目的とする。

グローバル化・学際化の中で発展するロボット産業と日本の課題

本日のプログラム

1. 15:00-15:10

Introduction: 「本ワークショップの概要説明、スピーカーの紹介」
栗原 潤 (キヤノングローバル戦略研究所)

2. 15:10-15:40

第一セッション「グローバル時代における日本の科学技術力の課題」
黒川 清 (政策大学院大学)

3. 15:40-16:10

第二セッション「ロボット産業の適用領域とその抱える問題点」
本田 幸夫 (大阪工業大学)

4. 16:10-16:30

第三セッション「ロボット技術開発の経済的必要性と倫理的課題」
栗原 潤 (キヤノングローバル戦略研究所)

5. 16:30-17:00 Q&A and Conclusion

モデレーター: 栗原 潤

グローバル化・学際化の中で発展するロボット産業と日本の課題

本日の第1回ワークショップを出発点として考える時…

日本企業のICTリテラシー (アンケート調査回答率(%))

	既に活用	関心有り	効果不明	活用分野 無し	導入予定 無し	無回答
IoT	6	14	15	18	28	19
Big Data	3	13	13	19	32	20
AI	1	11	11	20	38	19
Robot	3	8	8	22	40	19
FinTech	1	5	6	22	43	22
Sharing Economy	1	4	8	20	44	23
3D Printer	3	10	9	20	39	19
Drone	2	7	5	23	43	19
Electronic Tag	2	11	9	19	38	20

資料: 東京商工会議所 「生産性向上・ICT活用状況に関するアンケート調査結果」 2017年3月